

環境活動レポート

(期間：第52期 平成23年9月1日～平成24年8月31日)



(グリーンカーテン作り)

平成24年12月27日発行

平成25年 5月24日改訂

 三栄産業株式会社

1 環境方針

三栄産業株式会社は、次の環境方針に基づき環境保全活動に取り組んでいます。

環境方針 三栄産業株式会社

「三者繁栄」すなわち都市環境の向上に奉仕する当社の総合ビル管理事業を通じて

第一に お客様の繁栄に寄与することを念じ

第二に その結果、当社の経営にも好影響が生まれてくれば

第三に 従業員にも幸せが訪れてくる。

この思いを実現するため、お客様に信頼していただき、継続して仕事をさせていただくことが基本となる。その中で深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇といった人類共通の重要課題にも積極的に対応していきたい。

これらの考えを基に当社の環境方針を次のようにする。

当社の事業活動のあらゆる面で環境負荷の低減を図るのはもちろんのこと、環境保全につながるサービスや商品の提供にも力を入れ、持続的発展が可能な社会の構築に貢献する。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組めます。

- ①電気・水道の使用量を削減します。
- ②ゴミの排出量を削減し、再資源化を促進します。
- ③ガソリン・軽油の消費量を削減します。
- ④環境負荷の少ないサービスや商品をお客様に提案いたします。
- ⑤グリーン購入を推進します。
- ⑥地域社会に向けて環境啓発活動を行います。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：平成20年10月20日

改訂日：平成23年 9月30日

代表取締役 **米山 民男**

2 事業の概要（認証登録の範囲）

(1) 事業者名および代表者氏名

三栄産業株式会社
代表取締役 米山 民男

(2) 対象事業所

本社 〒730-0011 広島市中区基町5番44号 広島商工会議所ビル
西営業所 〒733-0035 広島市西区南観音七丁目6番22号
指定管理施設（契約期間）
佐伯運動公園（平成22年4月1日～平成27年3月31日）
寺迫公園（平成22年4月1日～平成27年3月31日）
広島市営駐車場（横川駐車場）（平成22年4月1日～平成27年3月31日）
広島市出島福祉センター（平成21年12月10日～平成26年3月31日）
広島市南観音老人福祉センター（平成22年4月1日～平成26年3月31日）
広島市筒瀬福祉センター（平成23年5月18日～平成26年3月31日）
広島市伴福祉センター（平成24年3月1日～平成26年3月31日）

(3) 環境管理関係者の連絡先

環境管理責任者 : 米山 真和（常務取締役）
環境事務局担当 : 戸林 英行（企画開発部部长）
連絡先 : ☎082-232-0533 (<http://www.3ei-kk.com/>)

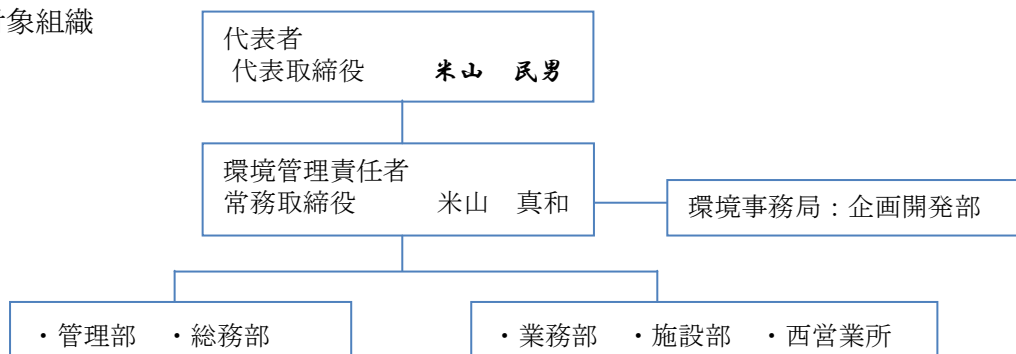
(4) 主な事業内容

ビルメンテナンス、警備保障、公共施設等の管理運営、建物リフォーム
設備機器メンテナンス

(5) 事業の規模

売上高 1,324百万円（第52期・平成24年8月）
従業員数 451人（平成24年・9月）
床面積 411㎡（平成23年・9月）

(6) 対象組織



3 環境目標

項目 【基準】	第52期 (H23.9~H24.8)	第53期 (H24.9~H25.8)	第54期 (H25.9~H26.8)
電力の二酸化炭素排出量の削減 【第48期 33,658kg-CO ₂ 】 【第48期 46,233kWh】	0% 33,658kg-CO ₂ 46,233kWh	△1% 33,321kg-CO ₂ 45,771kWh	△2% 32,984kg-CO ₂ 45,308kWh
ガソリンと軽油使用料の削減 【第48期 91,661 kg-CO ₂ 】 【第48期 ガソリン 26,469ℓ】 【第48期 軽油 11,546ℓ】	△3% 88,911 kg-CO ₂ 25,675ℓ 11,200ℓ	△5% 87,078 kg-CO ₂ 25,146ℓ 10,969 ℓ	△6% 86,162 kg-CO ₂ 24,881ℓ 10,853ℓ
自動車燃費の向上 【第50期 9.87 km/ℓ】	+2% 10.07 km/ℓ	+3% 10.17 km/ℓ	+4% 10.26 km/ℓ
環境負荷の少ないサービスや商品を提供する	3件/年	3件/年	3件/年
グリーン購入の推進	1件/年	1件/年	1件/年
一般廃棄物の削減 【第51期 394 kg】	△2% 386kg	△2% 386kg	△2% 386kg
水道使用量の削減 【第48期 270 m ³ 】	△25% 203 m ³	△26% 200 m ³	△27% 197 m ³
地域社会に向けた環境啓発活動	3か所/年	3か所/年	3か所/年

電気の二酸化炭素排出量は中国電力㈱の排出係数 0.728 を使用する。

4 環境目標の実績

第52期の環境目標達成状況【期間：平成23年9月～平成24年8月】

項目	目標値	実績	評価
電力の二酸化炭素排出量の削減	33,658kg-CO ₂ 46,233kWh	32,260kg-CO ₂ 44,313kWh	○
ガソリンと軽油使用量の削減	88,911kg-CO ₂ ガソリン 25,675ℓ 軽油 11,200ℓ	87,989kg-CO ₂ ガソリン 28,999ℓ 軽油 7,905ℓ	○
(参考) CO ₂ 排出量	122,569kg-CO ₂	120,249kg-CO ₂	○
自動車の燃費向上	10.07 km/ℓ	11.62 km/ℓ	○
環境負荷の少ない商品やサービスを提供する	3件/年	2件/年	×
グリーン購入の推進	1件/年	1件/年	○

項目	目標値	実績	評価
一般廃棄物の削減	386kg	413kg	×
水道使用量の削減	203 m ³	191 m ³	○
地域社会に向けた環境啓発活動	3 か所/年	4 か所/年	○

電気の二酸化炭素排出量は中国電力(株)の排出係数 0.728 を使用する。

5 環境活動の取り組み内容と結果の評価および次期への取り組み

取組内容	結果の評価と次期の取り組み内容
電力の二酸化炭素排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> 不要照明の消灯 クール・ウォームビズ運動 外出時のPCの電源OFF 冷房28℃、暖房20℃ 	事務所を二部屋から一部屋に改装した効果が寄与し目標を達成した。次期は個々の取組内容を徹底する。また営業所屋根への太陽光発電の設置についても検討する。
ガソリンと軽油使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップ 急加速、急停車の防止 冷暖房の控え目使用 	エコドライブの浸透および燃費の良い車への変更等が寄与し目標が達成できた。次期は取組を更に進める。
自動車の燃費向上 <ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップ 急加速、急停車の防止 冷暖房の控え目使用 	エコドライブの浸透および燃費の良い車への変更等が寄与し目標が達成できた。向う3か年分の目標まで達成できたため次期は目標を上方修正する。
環境負荷の少ない商品やサービスを提供する <ul style="list-style-type: none"> 省エネ対応機器（照明等）の取替工事 	件数が伸びず目標は達成できなかったが、引き合いは増えてきている。次期は照明器具以外の分野も積極的に進めていく。
グリーン購入の推進 <ul style="list-style-type: none"> 消耗品は環境に配慮したものに切替える 	当社の環境経営システムがおよぶ範囲のトイレットペーパーはすべて古紙100%でシングル巻のものに切替えた。次期は文房具類を中心に順次切替を進めていく
一般廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> ミスコピーの防止 印刷前確認の励行 古紙のリサイクル化 	目標は未達であったが、ゴミの分別は浸透してきており、排出される紙ごみを可能な限りリサイクルルートに乗せられるようになってきた。次期は目標達成のため新たな取組を追加する。
水道使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> 節水呼びかけ 	節水に関しては、使用者の心がけに重点を置いた節水運動が効果的であった。次期も運動を継続していく。
地域社会に向けた環境啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> グリーンカーテンの作成 エコスタックの作成 	当社が管理運営する公共施設の近隣住民の方に環境へ興味をもってもらえる活動ができた。次期は更に取組を進めていく

取組内容	結果の評価と次期の取り組み内容
・エコキャップ運動	

6 代表者による全体の評価と見直し

環境経営システムは概ね有効に機能している。「自動車燃費の向上」「地域社会に向けた環境啓発活動」は目標を上回る数字で達成できたので次期は目標を上方修正することにする。

「一般廃棄物の削減」は取組内容に4R活動(Refuse, Reduce, Reuse, Recycle)を追加する。

7 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

適用される主な環境関連法規制は、廃棄物処理法です。環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係機関などからの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

8 各現場での環境活動

当社では各現場の従業員に一般的な環境に対する自覚を高める教育を定期的実施し、二酸化炭素、廃棄物、水使用量の削減を意識したサービスの提供を行うのはもちろんのこと、様々な形で環境啓発や環境負荷の低減につながる活動を行なっています。

例 照明器具のリニューアル工事 (CO₂排出量とトータルコストの削減)

施工前

→

施工後



例 ゴミの分別の徹底 (再資源化の促進)

あるビルでは、当社の清掃スタッフがおお客様のご協力のもと一体となって、建物から排出される一般廃棄物の分別と再資源化に取り組みました。

その結果、特に排出される紙ごみを可能な限りリサイクルルートに乗せるようにしたところ、可燃ゴミの大幅な減量化に成功いたしました。

